

女性のためのあんしんつながりステーション事業【岐阜市】

個別事業費	14,850 千円
交付金額	11,138 千円

地域の実情と課題

【地域の実情】
 ○新型コロナウイルス感染症の拡大や長期化により、女性は生活、就労等において深刻な影響を受けた。
 ⇒勤務日数の減少や失職等による収入減で、生活苦に直面している女性は多いと考えられた。

【課題】
 ○安心して相談でき、個々のニーズに寄り添った支援につなぐ相談窓口を継承、充実させることが必要。

目的・目標

○不安を抱える女性たちが互いに支え合うことができる。
 《居場所づくり》
 ○相談、同行支援、グループセラピー、アウトリーチ支援。
 《個別支援》
 ○継続して支援できるネットワークの構築。
 《女性支援ネットワークの形成》

【事業目標】
 居場所に訪問した人数 2,500人⇒2,622人【達成】
 NPO等が連携し相談支援を行った件数 40件⇒49件【達成】

事業の特徴

様々な困難を抱える女の子、女性への相談業務の実施。

【個別相談】
 対面、電話だけでなく、居場所へ訪れることが困難な方にも対応するため、メールでの相談も実施。

【同行支援】
 要支援者に同行し、課題解決に適切な支援機関へつなぐ。

連携団体

【岐阜市男女共同参画推進審議会】
 岐阜商工会議所、岐阜青年会議所、岐阜市自治会連絡協議会、女性団体、人権擁護委員協議会、子育て支援団体、厚生労働省岐阜労働局、岐阜市小中学校長会、岐阜市議会、連合岐阜・岐阜地域協議会、岐阜大学、朝日大学

【委託先・再委託先】
 岐阜市女性センター、(特非)あゆみだした女性と子どもの会、(一社)よりそいネットワークぎふ

事業の効果

○女性が抱える悩みは複合的なものが多く、活動分野の様々な支援団体と連携したことで、女性の悩みに幅広く対応できた。また、支援団体と市内関係部局の職員とのネットワーク会議は、現場の声を届けることができ、包括的に支援するためには大変有効であった。

今後の課題

コロナ禍で鮮明となった女性の貧困と孤立に対する支援であるが、来所者数や相談件数に減少傾向がみられない。

- ①安心して相談でき、個々のニーズに寄り添った支援につなぐ相談窓口の継承、充実。
- ②傾聴から「具体的支援」につながるように福祉、子ども、保健分野等との連携が必要。

◆女性の居場所づくり

不安を抱える女性たちが互いに支えあうことができる居場所づくり

⇒・市内2ヶ所に「あんしんつながりステーション」を開設。

居場所へ訪れた女性へ女性用品等を配布したり、話を聞いたりする支援員を、各居場所へ1名配置。

※月～日曜日の中で、必ずどこかのステーションが開設しているように配慮。

・電子メール相談:延8件

・グループセラピーの開催 <開催日数> 岐阜駅東:5回

【開設期間】令和5年4月1日～令和6年2月29日

【開設場所】岐阜駅東・長良

【開設日時】(岐阜駅東) 月～土曜日 10:00～16:00

(長良) 火・木・日曜日 11:00～16:00

【来所者数】延2,622人

あんしんつながりステーション岐阜駅東



あんしんつながりステーション長良



◆支援が必要な女性(要支援者)への個別支援

何らかの支援が必要と判断された女性(要支援者)に対し、個別相談を実施

・相談事業

⇒要支援者に寄り添い、話を聴き、課題を明らかにする個別相談(面談)を行う相談員を、各居場所に1人配置:延413日

相談の様子



・同行支援事業

⇒要支援者に同行し、課題解決に適切な支援機関(行政、NPO等)へつなぐ。相談事業の相談員が実施。

個別相談:延851件

(うち面接相談:延382件、電話相談:延461件、メール相談:延8件)

・グループセラピー:5回

グループセラピー



・アウトリーチ支援

⇒同行支援:17回 訪問支援:47回



事業の概要

◆本事業の周知

不安を抱える女性に対しホームページ、SNSでの情報発信、啓発チラシ・カードの配布等、多様な手段を活用して相談窓口の存在を周知・啓発。また、啓発に必要な物資等を作成、調達。

- ・ホームページ作成(パソコン用、スマートフォン用)
- ・SNSでの情報発信:90回
- ・啓発チラシ・カード:各2,575枚配布
- ・女性用品(生理用品、紙マスクのセット):1,000個配布
※ステーション、女性を支援する団体等、市内大学等と連携し配布
- ・生活資金に特に困窮する女性の緊急雇用:延301時間実施

岐阜市HP



SNS投稿



女性用品セット



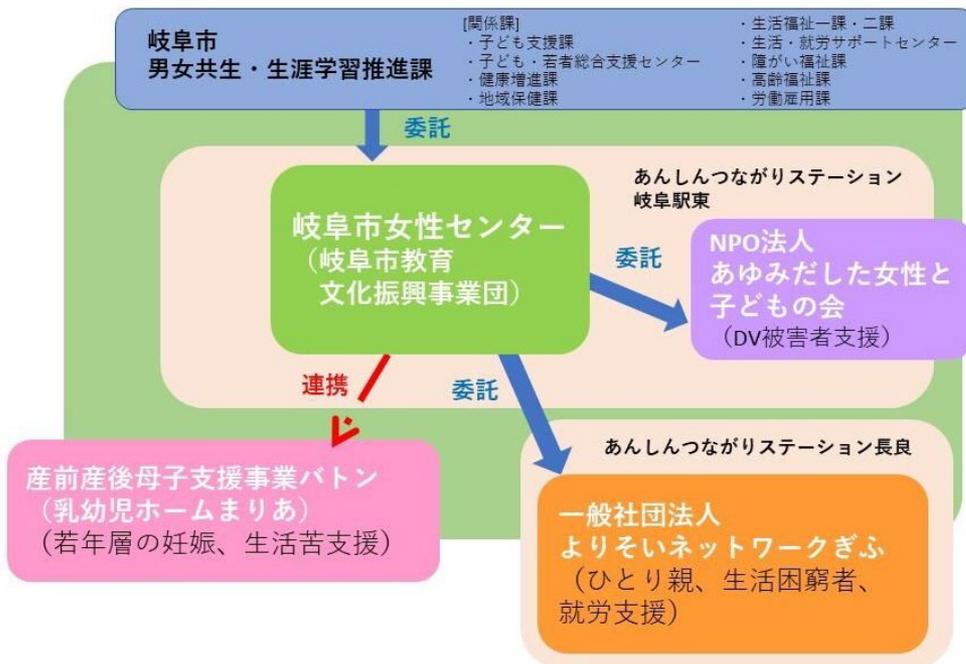
啓発チラシ・カード



◆つながりサポート型女性支援ネットワークの形成

- ・ つながりサポート女性支援ネットワーク会議の開催（10回）
⇒要支援者を支援する様々な団体が横の連携を強化し、より効果的な支援につなげるため、NPO等の枠を越えたネットワークを形成。加えて、本事業を円滑かつ効果的に展開するため、女性への支援、措置等に関係する部局による連携会議を開催。

●NPO等とのネットワーク体制



ネットワーク会議の様子

